

1. 科目名 (単位数)	外国語の指導法 (2 単位)	3. 科目番号	SJEL2412 EDEL2323
2. 授業担当教員	澁井 とし子		
4. 授業形態	講義、演習、ペア・グループ活動	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	日本の英語教育が再び大きく変わる。2020年全面実施となる学習指導要領に従い、小学校においては中学年で「外国語活動」が前倒しとなり、高学年では「外国語」が教科化されることとなる。そこで本講義では、外国語活動・外国語の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付けることを目標とする。児童期の第二言語習得理論を始めとする外国語教育に必要な理論を扱った後に、グループで模擬授業を体験することを通して、外国語の指導への理解を深め、教育現場への実践へと繋げていく。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校外国語教育に関する背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解することができる。 2. 児童期の第二言語習得の特徴について理解することができる。 3. 授業実践に必要な基本的な指導技術を身に付けることができる。 4. 実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付けることができる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	宿題：事前学習と事後学習の欄を見て、丁寧に授業の予習と復習を行うこと。 レポート課題： ①授業振り返りシート15回分 ②グループによる指導案 ③模擬授業評価シート		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 小川隆夫・東仁美 『小学校英語はじめる教科書 外国語・外国語活動指導者養成のためにコア・カリキュラムに沿って』 mpi 小学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 学校図書 『JUNIOR TOTAL ENGLISH 1』 【参考書】 樋口忠彦 (代表) 『新編 小学校英語教育法入門』 研究社		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校外国語教育に関する背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解することができたか。 2. 児童期の第二言語習得の特徴について理解することができたか。 3. 授業実践に必要な基本的な指導技術を身に付けることができたか。 4. 実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付けることができたか。 ○評定の方法 復習テスト 30% レポート課題 40% コースワーク (授業中の態度、言語活動参加度、模擬授業を含む。) 30%		
12. 受講生への メッセージ	・ 本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は、単位の修得は基本的に認められない。 ・ 受講にあたっては、事前学習と事後学習を丁寧にを行い、授業には集中し、積極的に活動に取り組むこと。 また、授業を通して小学校の子どもに適した指導の知識・技能を習得すること。		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション、 学習指導要領 (小・中・高) の目標と内容についての理解、授業観察	事前学習	小学校学習指導要領 (文部科学省, 2017) を読み、外国語活動・外国語の目標と特徴を把握する。
		事後学習	教科書第一部 Unit 1 を読み、外国語活動・外国語の目標と特徴について復習する。
第 2 回	主教材の趣旨・構成・特徴、小・中・高等学校の連携と小学校の役割、学習状況の評価、授業体験	事前学習	教科書第一部 Unit 2 を読み、小・中・高等学校で一貫した英語教育の目標と小学校の役割について把握する。
		事後学習	主教材の趣旨、構成、特徴について、小・中・高等学校で一貫した英語教育の目標と小学校の役割について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第 3 回	児童や学校の多様性への対応、学習到達目標、指導計画の理解と学習指導案の作り方	事前学習	教科書第一部 Unit 3 を読み、児童や学校の多様性への対応を含む指導者の役割について把握する。
		事後学習	指導者の役割について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第 4 回	言語使用を通じた言語習得・音声インプットの内容を類推し、理解するプロセス、学習到達目標、指導計画の理解と学習指導案の立案	事前学習	教科書第一部 Unit 4 を読み、言語習得・音声によるインプットについて把握する。
		事後学習	言語習得・音声によるインプットについて再度教科書の該当部分を熟読し復習する。

第5回	コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にした言語活動、学習指導案の立案	事前学習	教科書第一部 Unit 5 を読み、コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にした言語活動について把握する。
		事後学習	コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にした言語活動について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第6回	発信から受信、音声から文字へと進むプロセス、国語教育との連携、題材の選定と教材研究	事前学習	教科書第一部 Unit 6 と 7 を読み、音声から文字へと進むプロセスについて把握する。
		事後学習	受信から発信へと進むプロセス、音声から文字へと進むプロセスについて再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第7回	発話に繋がる効果的な語りかけ、発話の引き出し方と児童とのやり取りの進め方、題材の選定と教材研究、学習指導案の作り方	事前学習	教科書第一部 Unit 8 を読み、クラスルームイングリッシュを把握する。
		事後学習	クラスルームイングリッシュ、スモールトーク、ティーチャートークについて、教材研究と指導計画の立て方について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第8回	文字言語との出合わせ方、読む活動から書く活動への導き方、学習指導案の作り方	事前学習	教科書第一部 Unit 9 を読み、文字言語への導き方について把握する。
		事後学習	文字言語への導き方について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第9回	ALT 等とのチーム・ティーチング、ICT 等の活用の仕方	事前学習	教科書第一部 Unit 13 と 14 を読み、チーム・ティーチングと ICT 教材の活用方法を把握する。
		事後学習	チーム・ティーチングと ICT 教材の活用方法について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第10回	学習状況の評価、学習指導案の作り方	事前学習	教科書第一部 Unit 15 を読み、学習状況の評価について把握する。
		事後学習	学習状況の評価について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第11回	学習指導案の作り方、模擬授業練習	事前学習	作成した指導案に基づき、模擬授業の練習を行う。
		事後学習	作成した指導案に基づき、模擬授業の練習を行い、それを振り返り改善する。
第12回	模擬授業準備の最終確認と模擬授業	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入する。授業改善を行う。
第13回	模擬授業（授業観察・質疑応答・自己評価）	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入する。授業改善を行う。
第14回	模擬授業と本授業の目的の再確認とまとめ	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入する。授業改善を行う。
第15回	模擬授業の評価・クラスディスカッション・総評、振り返り・授業改善	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入する。授業改善を行う。